

うれしの

【発行所】
嬉野医療センター
佐賀県嬉野市嬉野町
大字下宿甲4760-1



Contents

新任のごあいさつ	2	20年・30年永年勤続表彰式	5
第5回病院祭・第56回嬉看祭のご案内	2	RRS研修会を開催しました	8
おいしく夏バテ予防	3	患者案内システムが新しくなりました	9
災害医療について	4	外来担当医表	10

基本理念

「命と心をつなぐ医療」

「命と心をつなぐ医療」の実践には、患者の身体的苦痛を取り除くだけでなく、精神的苦痛も理解し和らげる努力が重要である。

また、患者や家族と良好な信頼関係を構築し、安心して治療を受けられる環境づくりが大切である。

新任のごあいさつ

神経内科



川浪 建

神経内科医師
出身大学 佐賀大学
平成 31 年卒
専門分野 一般

専門医 内科専門医

地域医療に貢献できるよう日々精進致します。

医療機器管理室

臨床工学技士 畠中 理久斗



性格 おおらか
長所 こつこつ頑張ること
好きなこと 体を動かすこと
好きな食べ物 豚骨ラーメン
趣味 サウナ
特技 高いところの物をとること

一言コメント この度臨床工学技士として着任しました畠中理久斗です。まだ分からないことだらけですが頑張ります。サウナやラーメンの話題にはすぐ食いつきますので、ぜひ気軽に声をかけてください。これからよろしくお願いします。

第5回 病院祭・第56回 嬉看祭のご案内

今年も昨年に引き続き、附属看護学校との合同開催にて
「第5回病院祭・第56回嬉看祭」を10月18日(土)に開催いたします。

当日は、健康に関する測定や体験コーナー、キッズコーナー、各種イベントステージ、キッチンカーなど、幅広い世代の方にご参加いただける内容を現在企画しています。ご家族・ご近所の方やお友達をお誘い合わせのうえ、ぜひお気軽にお越しください。

地域の皆さまとの交流を深める貴重な機会として、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

※ご来場の際は、感染予防のためマスクの着用にご協力をお願いいたします。

キッチンカー



スーパーボール
すくい



白衣体験



健康測定・体験コーナー



DMAT 活動紹介



おいしく夏バテ予防!

栄養士 児玉みなみ



夏になると、暑さや湿度の影響で「だるい」「食欲がない」「体が重い」といった不調を感じる場合があります。これがいわゆる夏バテです。夏バテを予防するためには毎日の食事を見直し、体調を整えることがとても重要です。

夏バテ予防に効果的な食事は①タンパク質をしっかり摂る②ビタミン・ミネラルを意識する③消化の良い食材を選ぶです。以上の3点を踏まえたおすすめメニューをご紹介します。



～冷や汁～

宮崎県の郷土料理としても知られている冷や汁は夏バテにぴったりのメニューです。ぜひご家庭でも作ってみてください!

■ レシピ(2人分)

- ・ごはん 2膳分(温かなくても冷ご飯でも◎)
- ・きゅうり 1本(薄切り)
- ・みょうが 1個(千切り・お好みで)
- ・大葉 4枚程度(千切り)
- ・豆腐 1/2丁(軽く手でほぐす)
- ・いりごま 大さじ1
- ・味噌 大さじ2
- ・だし汁 300～400ml
(冷やしておく温かいままでも◎ ※顆粒だしを水に溶かしてもOK)



■ 作り方

- ・材料(きゅうり・みょうが・大葉)を切っておく(きゅうりは塩もみして水気を絞っておく)
- ・味噌をフライパンで軽く焼く(面倒な場合は省略OK)
- ・味噌をだし汁に溶かし、切っておいた野菜や豆腐などを混ぜ合わせる。
- ・ご飯の上にとっぷりかけて完成!

■ ポイント

- ・鰹の干物や焼き魚をほぐして入れると本格的になります! ツナ缶(水煮)だとより簡単にできます。
- ・ネギやショウガを入れても◎!



ツナ缶使用冷や汁

2 DMAT

今回はDMAT (Disaster Medical Assistance Team 災害派遣医療チーム) について取り上げます。DMATは「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」※1と定義されており、各単語の頭文字をとって、ディーマットと呼ばれています。チームは医師 (Doctor) ・看護師 (Nurse) ・業務調整員 (Logistician) の3職種から成り、業務調整員は医師・看護師以外の医療職、または事務職員から構成されています。DMATは自然災害や航空機・列車などによる事故が発生した場合にチームとして現場へ赴き、必要な医療提供体制の支援や傷病者の搬送など、被災された方の生命を守るために活動します。近年では自然災害だけでなく、新型コロナウイルスなど新興感染症のまん延時などにもその活動範囲を広げています。新型コロナウイルスの発生当初に、クルーズ客船ダイヤモンドプリンセスの船内で活動した報道をご覧になった方もおられるかもしれません。

DMAT発足の契機になったのは、1995年に起きた阪神・淡路大震災です。この災害では、死者・行方不明者が6,400人を超える、当時としては戦後最大の被害を出しました。また、その後の調査で、仮に平時の救急医療体制が機能していた場合、防ぎえた災害死が数百件程度あったとの報告もなされました。当時は現在ほどインターネットが一般的ではなかったため、特に情報の連絡・共有体制には大きな課題を残しました。その後、厚生労働省は日本DMATを組織化し、2004年の新潟県中越沖地震以降、DMATは各地で発生する災害や事故などの現場で活動しています。

DMAT隊員になるには、主に東京都または兵庫県で開催される、日本DMAT隊員養成研修を受講する必要があります。研修は4日間あり、災害医療の基本的な知識を学ぶだけでなく、職種ごとに行われる実践的な研修を通じて、隊員として必要とされる技能を身につけます。私たち業務調整員は、衛星携帯電話やトランシーバーの操作方法、経時活動記録(クロノロジーとも言います)の記載方法、EMIS (Emergency Medical Information System 広域災害救急医療情報システム)の入力方法などについて学びます。いずれも隊員として欠かすことのできない重要な要素であり、隊員になった後も各地で開催される研修や訓練等を通じて、これら技能の研鑽に努めています。

先日も熊本県で、大規模な豪雨災害が発生しました。頻発する災害に対して、災害医療に従事するDMAT隊員の数は決して十分ではありません。災害拠点病院にお勤めの方でDMATに興味がおありの方は、ぜひ研修の受講をご検討ください。

次回はEMISについて記載します。

※1 平成13年度厚生科学特別研究「日本における災害時派遣医療チーム(DMAT)の標準化に関する研究」報告書

20年・30年 永年勤続表彰式



院長 力武一久

2004年10月に入職し、20年6か月が経とうとしています。当初は心臓手術に明け暮れ、昼夜を問わず手術をしていました。スタッフの皆さんには多大な負担や迷惑を与えてきたかもしれませんが、〈心臓は嬉野〉のイメージを植えつけられたのではないかと自負しています。キツイ時こそ笑顔で！を信念に、時にはつまらないジョークを飛ばしながら皆で明るく仕事をやってきたつもりです。今は管理職となり、人が嫌がる言葉を発しないといけない事もあり、それが現在の私の苦痛でもあります。5年・10年・20年後に、嬉野医療センターがこれまで以上に信頼される病院になるように、もうしばらく努力していこうと思います。今後とも宜しく願い申し上げます。

臨床検査技師長 野中修一

30年も経ったんだなー。機構で30年働くことができたのは多くの素晴らしい先輩、同僚に出会えたからこそと思います。

今後も出来るだけ国立病院機構の発展に貢献できるよう頑張りたいともいます。これまで支えてくださった皆様に感謝申し上げます。

副看護師長 井手千佳子

このたび、勤続30年という節目にあたり、改めて若かりし頃の出来事や今自分が感じていることを振り返る機会になりました。社会人として働き始めたのが平成4年、助産師として命のはじまりに寄り添うという、尊く責任ある多くの「いのちの誕生」に立ち会ってきました。新人の頃はまだ分娩件数が今より数倍多く、夜間は何の連絡も無く陣痛が始まった患者さんは分娩セットを持参し入院をされるようなご時世で分娩進行者が常に2～3人いる状況でした。分娩進行を予測するための情報を統合する力、分娩進行を安全に導きリスク回避しながら

分娩介助をする実技を身に付けるには助産師の先輩方が的確に対応される仕事ぶりを自分の力に取り込む努力をしていました。一つひとつの出産に、それぞれのドラマがあり、奇跡があり、感動があり分娩進行は常に正常から逸脱する可能性があるため赤ちゃんの産声を聞いたときの安堵感は、今でもはっきりと覚えています。

平成22年からがん化学療法看護認定看護師として、多くのがん患者さんと関わらせていただいています。がんと診断を受けたときの戸惑いや不安、治療に向き合う強さ、そして時に見せてくださる涙や笑顔、そのすべての瞬間に、私も深く心を動かされながら、抗がん剤治療と向き合う患者さんと共に歩んできたように感じています。抗がん剤の副作用に苦しみながらも、「まだ孫の成人式までは頑張る」と笑っていた患者さんの言葉、治療を終えて「あなたと話せてよかった」と言葉をくださった方の温もり、そうした一つひとつの出会いが、患者さんが「その人らしく生きる」ことを支える私の看護師としての原動力です。

改めてこれまで支えてくださった多くの方々、共に働く仲間、上司、そして患者さんやご家族の皆さんの支えがあったからこそ、30年という年月を歩み続けることができました。これからも初心を忘れず患者さんに寄り添える看護師であり続けたいと思います。

企画課長 佐野浩史

この度、永年勤続表彰をいただきありがとうございました。

振り返ってみればあっという間の20年でした。これまで沖縄を除く九州各県に赴任し、様々な特色を持った病院を経験させていただきました。時にはどう業務を進めていくべきか戸惑うこともありましたが、諸先輩方や職員の皆様にご指導、ご協力をいただいたお陰で何とか乗り切ることができました。

定年が延長され、今年が折り返し地点です。これからもよろしく願いいたします。

教員 岩谷望美

このたびは、永年勤続表彰を頂きありがとうございました。

臨床で9年、看護学校で11年、たくさんの方々に支えられ、この日を迎えることができました。

嬉野医療センターの皆様には感謝申し上げます。

今後も微力ながら頑張りますので、ご指導よろしくお願い致します。

教員 東垂水朋子

この度、永年勤続表彰(20年)を頂き、大変光栄に思います。

振り返れば、看護・教育にかかわる中で、多くの関係者や学生に恵まれた20年でした。

今まで出会った患者さんへの看護や学生たちの教育にかかわりながら、私自身も日々、医療・看護・教育の奥深さを実感しております。

もう(やっと)20年と感じますが、あと20年という中間地点でもあります。

これまで勤めることができたのは、周囲の温かいご支援と、職場の環境に恵まれたおかげと心より感謝しております。

今後とも、未来の看護師への人材育成に微力ながら尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

この度は永年継続20年表彰をしていただきありがとうございます。呼吸器内科、総合診療科、整形外科、循環器内科、心臓外科、救命、救急外来、ICUなど色々学ばせていただきました。沢山の方々に支えられて、ここまで働き続けることができ、とても感謝しています。忘年会やバレーボール大会、BBQ、歓迎会、送別会などの行事ではカメラマンとして今まで何万枚もの写真を撮り、良い思い出です。就職した時はオーダーリングシステムで、紙カルテとオーダーリングシステムで、指示簿が達筆で書いてあり、読み取れず、先輩に聞きながら指示を確認したりしていたのも懐かしいです。富士通になったり、SSIになったり、電子カルテが変わる度に電子カルテ担当としてマニュアル作ったり色々してきて大変だったなど…。今となってはよい思い出になりました。私の好きな詩で「念すれば花開く」というものがあります。これは、ただ願っているだけでなく、一生懸命努力すれば、夢や目標が叶い、道が開けるという意味です。これからもその言葉を胸に頑張って看護師を続けていきたいと思っていますので、よろしくお祈りします。沢山の方々とのお会いに感謝です。

今回このような表彰を頂き光栄です。

これからも頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。

この度は永年勤続表彰をいただき、ありがとうございます。

私は、国立嬉野病院で超未熟児で生まれ命を助けてもらいました。今度は自分が医療者の立場で恩返しできたという気持ちで嬉野医療センターへ就職しました。上司、先輩、同期、後輩や家族に支えられ、振り返ればあっという間の20年間でした。これからも感謝の気持ちを忘れずに、自分なりに頑張っていきたいと思っています。



RRS 研修会を開催しました

集中ケア認定看護師 河上ひとみ

当院では、入院中の患者様の異変に早期に気づき、状態が悪化する前に介入するための院内迅速対応システム (RapidResponseSystem : RRS) を2011年に導入し、約13年が経過しました。学習会など様々な啓蒙活動を行うことで、院内においてRRSに関する重要性の周知につながり、現在では病棟から専門チームに相談を受けることが増えております。さらに、RRSの周知につながるために今回、2025年5月17日(土)に日本臨床救急医学会主催のRRS起動要素研修コース及び指導者コースを当院で開催し、東京慈恵会医科大学より3名の講師の方をお招きしました。午前中は、RRS起動要素研修コースに各病棟から受講希望したスタッフ13名が参加し、様々な症例をもとにRRS起動方法に関して考える機会になりました。午後からは、RRS起動要素研修指導者コースに9名が参加し、実際のシナリオの指導を行うための方法について学習しました。シミュレーターを使用して演習を行うことで、より実際の患者様を想定する研修会となり、状態変化を伝える難しさやRRSを起動するにあたってのコミュニケーションについて学ぶことができました。今後も救命率向上のために活動していきたいと思っております。



研修会の様子

〇〇さん、今日はいつもよりきつそう



模擬人形の状態を観察しています



患者さんの状態を観察してRRS 起動が必要か考えています

先生、専門チーム呼びます



RRS 起動にあたってのコミュニケーションスキルを検討しています



スマートフォンでより快適に！ 患者案内システムが新しくなりました

経営企画係長 中上瑞樹

これまで院内でご利用いただいていた案内機に代わり、患者案内システムがスマートフォン対応の新しい仕組みに生まれ変わりました。病院での滞在時間を少しでも快適に、安心してお過ごしいただけるよう、ぜひ新システムをご活用ください。

新しい案内システムでは、患者様ご自身のスマートフォンから、現在の受診状況や診察の進行状況などをリアルタイムで確認することができます。受付後に表示されるQRコードを読み取ることで、案内画面が表示され、待ち時間の目安や呼び出し状況などが手軽にチェック可能です。

また、ご自身のスマートフォンを利用することで、院外にいても案内情報を受け取ることができるようになりました。これにより、待ち時間を院外で過ごすことも可能となり、より柔軟な時間の使い方ができるようになります。

さらに便利にご利用いただく方法として、スマートフォンのホーム画面に案内システムのアイコンを追加することをおすすめしています。この設定を行うことで、毎回QRコードを読み取る必要がなくなり、画面が消えてしまってもアイコンをタップするだけで、すぐに最新の案内情報にアクセスできます。

次回の受診時には、受付を済ませた後、ホーム画面のアイコンをタップするだけで、スムーズに案内システムをご利用いただけます。操作はシンプルで、初めての方でも安心してお使いいただけるよう、院内スタッフが丁寧にサポートいたします。

新しいシステムへの移行に伴い、これまでの操作方法とは異なる部分もございます。そのため、慣れるまでの間はご不便をおかけすることもあるかと思いますが、患者様の利便性向上のための取り組みとして、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

より快適な診療環境の実現に向けて、皆様のご意見やご要望もぜひお寄せください。



外来患者案内システムの変更点

従来のピンク色の案内機からスマートフォンへ変更されます。
スマートフォンは患者様のスマートフォンへの案内が可能です。

今日の予定	
消化器内科	一般診察
消化器内科	CT 14:00
消化器内科	診察 15:00
整形外科	診察 15:30
整形外科	リハビリ 16:00

既存システム

新システム

嬉野医療センター 外来診療担当医表

▶▶ 紹介状・予約が必要です ◀◀

2025. 9. 1 ~

区分	月	火	水	木	金
総合診療科	午前 黒木 本村	本村 永田	黒木	本村	黒木 永田
呼吸器内科	午前 佐々木 中富	小宮 旭	佐々木(再診) 中富	佐々木 小宮	中富 小宮
消化器内科	午前 田中(消化管) 行元(消化管) 田崎(肝臓・胆嚢・膵臓)	綱田(消化管) 有尾(肝臓) 嶋倉(肝臓・胆嚢・膵臓) 権藤(消化管)	嶋倉(肝臓・胆嚢・膵臓) 大山(消化管) 山本(消化管)	綱田(消化管) 有尾(肝臓) 行元(消化管) 朝長(消化管)	田中(消化管) 権藤(消化管) 田崎(肝臓・胆嚢・膵臓)
循環器内科	午前 合力 田栗	下村 井上	合力 不整脈外来(再診) 新里	下村 中島 山口 (ペースメーカー)	井上
心臓血管外科	午前	高松 古賀			高松 古賀
糖尿病内分泌内科	午前 井上(新患)	池岡(再診)	池岡(新患) 井上(再診)	池岡(再診)	井上(再診)
リウマチ科・内科	午前 庄村	西畑	荒武	荒武	庄村(再診) 西畑
神経内科	午前 小杉(新患) 津村(再診)		小杉 津村		小杉(再診) 川浪(新患・再診)
腎臓内科	午前 野中	広松 小野	広松 荒木	野中 小野	野中(再診)
小児科	午前 土井 初診：各月当番医	森田 初診：各月当番医	川崎 初診：各月当番医	西川 初診：各月当番医	浦島 初診：各月当番医
	午後 小児腎臓外来(第2・4) 小児アレルギー外来 予防接種外来	乳児健診 小児アレルギー外来	小児循環器外来 小児アレルギー外来	小児アレルギー外来 小児神経外来	小児代謝・内分泌外来 小児アレルギー外来
呼吸器・乳腺外科	午前 近藤 板倉	近藤 板倉			
	午後 近藤 板倉				
消化器外科	午前		黨 内田	原	大野田
整形外科	午前 村田 高平 田中	小河 松尾 弦本	古市 村田 山口	小河 中山 高平	古市 村田 松尾
脳神経外科	午前 川野	宮園		宮園 岸川(再診)	川野
皮膚科	午前 西島	西島	西島	西島	西島
形成外科	午前 赤司(非常勤)				
泌尿器科	午前 林田(新患) 上田(再診)	林田(再診) 上田(新患) 内田(新患)		林田(再診) 上田(新患)(第2・4) 内田(新患)(第1・3・5)	林田(新患)(第1・3・5) 内田(新患)(第2・4)
	午後 上田(再診)			林田(再診)	
婦人科	午前 一瀬	中島		野口	大橋
産科	午前 久本	本石	助産師外来(9時~16時)	大橋	野口
	午後 母乳外来(14時~16時)	助産師外来(14時~16時)		母乳外来(14時~16時)	助産師外来(14時~16時)
眼科	午前 岩切		岩切		岩切
	午後 岩切(再診)		岩切(再診)		岩切(再診)
耳鼻咽喉科 (午後13:00~16:00)	午前 吉見 牟田	吉見 牟田	耳鼻科外来(新患)	吉見 牟田	吉見 牟田
	午後		吉見 牟田		
放射線科	午前・午後 診療	午前・午後 診療	午前・午後 診療	午前・午後 診療	午前・午後 診療
術前診察		午前診療			午前診療
緩和ケア	午前診療	午前診療	午前診療	午前診療	午前診療
ペインクリニック	午前 香月 北村	香月 北村			香月 北村
入院評価		午後診療		午後診療	
救急科 (8:30~17:15)	藤原 山田	藤原 山田	藤原 山田	藤原 山田	藤原 山田
歯科口腔外科	午前 井原 森	井原 森	井原 森	井原 森	井原 森
	午後	井原 森			井原 森